

6 卓球競技 実施要項

1 主催 大分県高等学校体育連盟

2 期 日 令和元年 11 月 9 日 (土) 開館 ～ 8 : 30 各校チーム対抗戦試合 A のオーダー提出
 9 : 00 ～ 開始式
 9 : 15 ～ 各校チーム対抗戦 男女ともに準々決勝まで
 (個人戦) シングルス 1 回戦・ダブルス決勝まで
 11 月 10 日 (日) 9 : 00 ～ (各校チーム対抗戦) ベスト 4 の決勝リーグ
 (個人戦) シングルス決勝まで

3 場 所 杵築市文化体育館 (杵築市本庄2005) TEL 0978-63-5558

4 競技規則 (1) 現行の日本卓球ルール(2019年6月1日改定)による。
 (2) 服装は、日本卓球ルールの規定ユニフォームを着用し、背中に令和元年度の日本卓球協会指定のゼッケンを必ずつける。
 (3) 引率責任者は、必ず当該校の教職員であること。
 (4) アドバイスについて
 ア. 各校チーム対抗戦では、当該校の校長が認め、日本卓球協会に登録し、申込書に記載した監督 (登録ワッペンをつけた者・外部指導者については外部指導者登録証もつけること) 1 名及び各校チーム対抗戦にエントリーした 8 名以内の選手とする。
 イ.個人戦 (ダブルス・シングルス) は、上記の監督または本大会にエントリーしている選手のうち 1 名に限る。
 ウ.各支部専門委員から配布される「重要確認事項」を遵守すること。
 (5) タイムアウトは、各校チーム対抗戦のみ採用する。

5 競技種目 男女とも、各校チーム対抗戦・個人戦シングルス・個人戦ダブルスとする。

6 競技方法 (1) 各校チーム対抗戦は、トーナメント方式とベスト 4 による決勝リーグ戦をする。
 個人戦はトーナメント方式による。各試合とも 1 1 点 5 セットマッチとする。
 (2) 各校チーム対抗戦は、男女とも 4 名以上 8 名以内でチームを構成する。ベンチに入るのはこの選手と監督 1 名となる。
 (3) 各校チーム対抗戦は、4～6 名による 4 S 1 D の 5 試合 3 試合先取で決する。
 (4) 各校チーム対抗戦の試合は、次の順序とする。ただし、1・2 番の選手同士で 3 番のダブルスは組めない。
 (5) 試合球は本部が用意した日本卓球協会公認プラスチック球 (40mm ホワイト) を使用する。
 (Nittaku ・ TSP ・ Butterfly の 3 種類を用意します。)

順序	1	2	3	4	5
	S	S	D	S	S

7 参加資格 「令和元年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
 外国籍選手については全国高体連卓球専門部内規の出場制限による。

8 参加制限 (1) 各校チーム対抗戦は、各校男女とも 1 チームとする。
 (2) 各校チームは男女とも 4 名以上 8 名以内で構成する。
 (3) 個人戦は、各支部予選を経て、出場権を得た選手とする。
 ※支部選抜数は、9 月上旬までに各支部専門委員より別途文書で連絡する。

支部選抜数		大分	別杵	県北久大	県南豊肥	専門部推薦	合計
新人大会	男子	D					
		S					
女子	D						
	S						

9 参加申込 下記 ア)、イ) とともに必着
 ア) 申込用紙を高体連のホームページから入手し、令和元年10月8日(火)12:00 までにExcelデータのまま送信する。
 送信先 : 県立学校は「庁内連絡」(中津南高等学校 佐藤貴司) に添付による
 : 私立学校はメール (satou-takashi2@oen.ed.jp) に添付による
 イ) No 6 様式に男・女を別紙で作成・捺印し、令和元年10月10日(木)までに郵送する。
 郵送先 : 〒871-0042 中津市高畑2093 中津南高等学校 内 佐藤 貴司

10 参加負担金 選手 1 人につき 加盟校 6 0 0 円・非加盟校 1 0 0 0 円。大会当日の受付で納入する。

11 出場権の獲得 (1) 本大会の学校対抗 1 位～4 位のチームに、全九州高等学校新人卓球選手権大会の出場権を与える。
 (2) 全国高校選抜新人合宿の出場権については本県卓球連盟主催の全日本卓球選手権大会 (ジュニアの部) 県予選会の 1 位に出場権を与える。ただし、条件があるため 1 位の選手が該当しない場合は順位を下げる。

12 組合抽選 (1) 令和元年10月24日 (木) 9 時～1 7 時 高体連事務局会議室
 (2) 組み合わせ抽選は、支部代表による専門委員会で抽選基準に基づいて行う。

13 連絡事項 (1) 各校チーム対抗戦の 2 回戦以降のオーダー用紙の提出は、対戦相手が決まり次第、直ちに提出すること。
 (2) 各校チーム対抗戦においてコート を 2 台使用することもある。
 (3) 監督及び選手の変更は、上記組合抽選までに所定の手続きを行うこと。それ以後の変更は認めない。
 また、各校チーム対抗戦のエントリー追加についても申込み以降認めない。
 (4) 個人戦の組み合わせは、男女ともに支部予選を通過した者の中から、下記の選手を専門部推薦選手としてシードする。ただし、ポイントの低い選手はシードしないこともある。
 《専門部推薦選手》 一支部選抜数と同様に、9 月上旬までに各支部専門委員より別途文書で連絡する。